

# Network Configurator Ver.2.21 リリースノート

Network Configurator for DeviceNet Safety Version. 2.□□ のバージョンアップの内容をご案内します。

## 1. アップデート方法

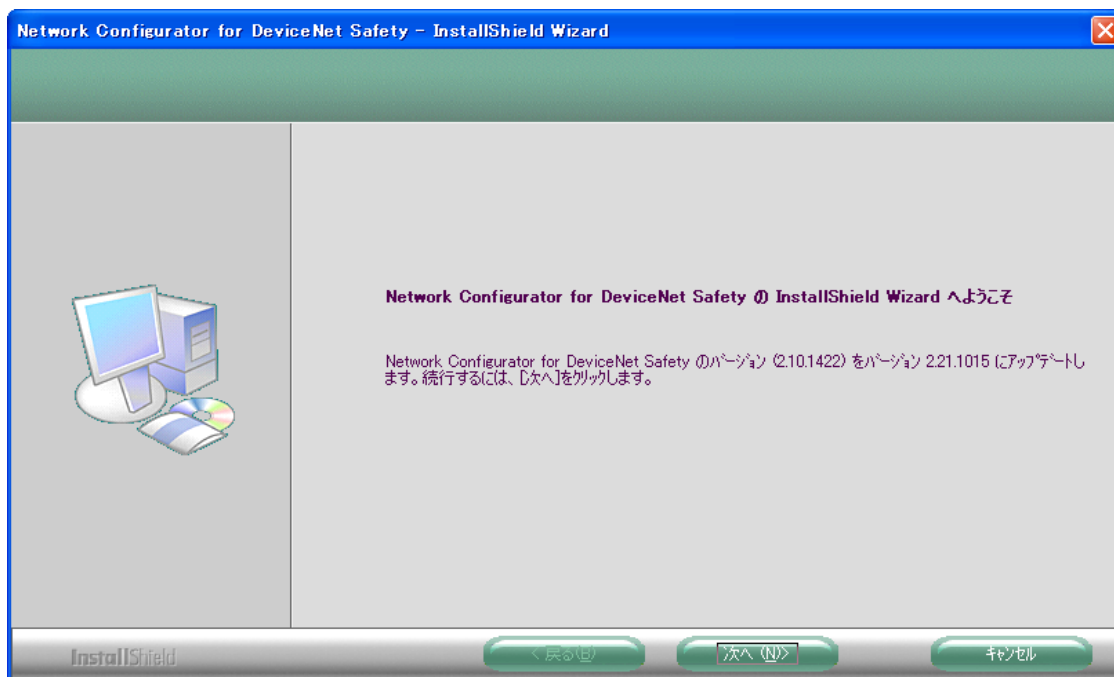
Network Configurator を Ver. 2.21 へアップデートする方法を説明します。

アップデートには、Ver. 2.00/ Ver. 2.01/ Ver. 2.10/ Ver. 2.20 がインストールされていることが必要です。

(その他のバージョンは対象外です。)

### 1.1. アップデート

1. アップデートモジュール (NetworkConfigurator\_for\_Safety\_v2.21.1015\_Update\_Jp.exe) を実行します。
2. 下記のような画面が表示されます。



3. 画面の案内に従い、「次へ」ボタンをクリックします。
4. インストールが始まります。
5. 下記のような画面が表示され、インストールが完了します。



## 1.2. インストール確認方法

「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」画面で、「Network Configurator for DeviceNet Safety」を探します。



上記の「サポート情報」で「2.21.1015」と表示されていれば、正しくソフトウェアが更新されています。



なお、Ver. 2.00/ Ver. 2.01/ Ver. 2.10/ Ver. 2.20 から Ver. 2.21 までに追加・変更した機能は、2章～5章をご確認ください。

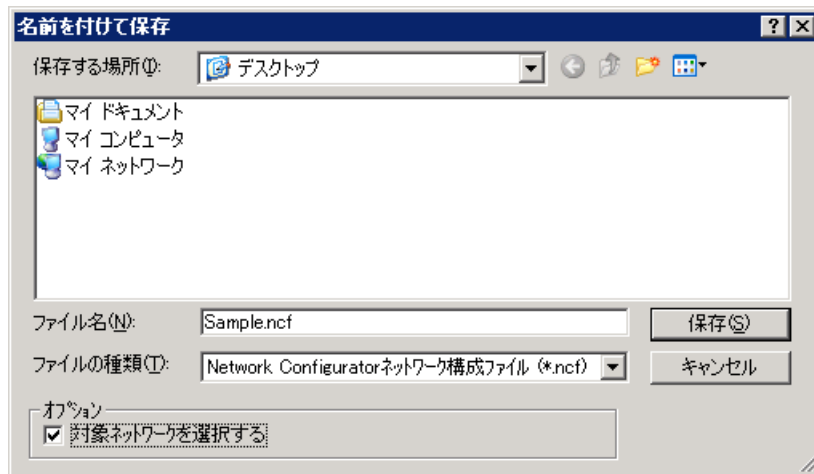
## 2. Ver.2.00 からVer.2.01 へのアップデート内容

Ver.2.01 で新規に追加された機能を紹介します。

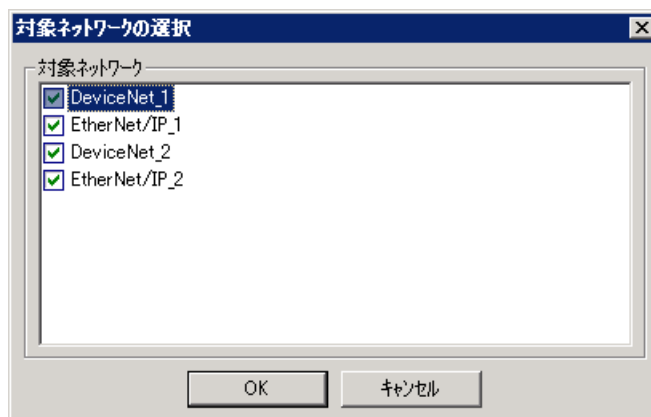
### 2.1. ネットワーク毎のファイル保存・読み出し

Ver.2.01 以降では、ネットワーク構成の再利用が可能です。以下にその手順を説明します。

- (1) 再利用したいプロジェクトファイルを開きます。
- (2) メニューバーから[ファイル] | [名前を付けて保存]を選択します。  
次のダイアログボックスが表示されます。



- (3) オプションとして、「対象ネットワークを選択する」というチェックボックスが表示されます。
- (4) チェックボックスにチェックをした状態で保存ボタンを選択すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

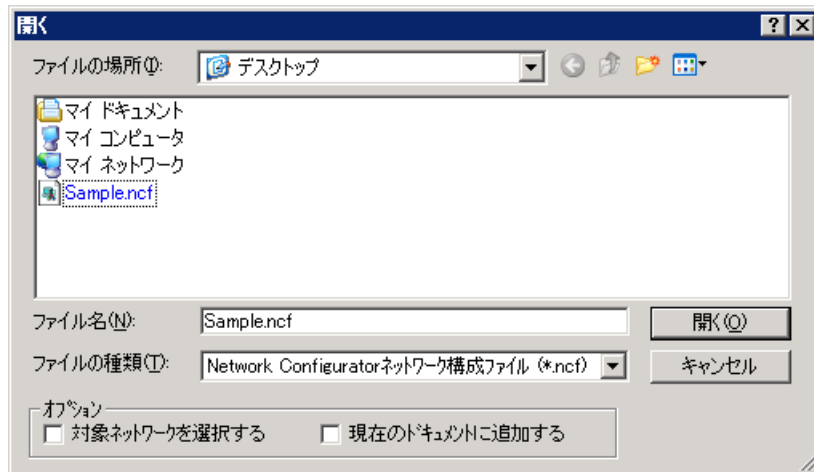


- (5) この画面で、保存したいネットワークを選択し、[OK]ボタンをクリックすると、チェックしたネットワークの情報がファイルに保存されます。

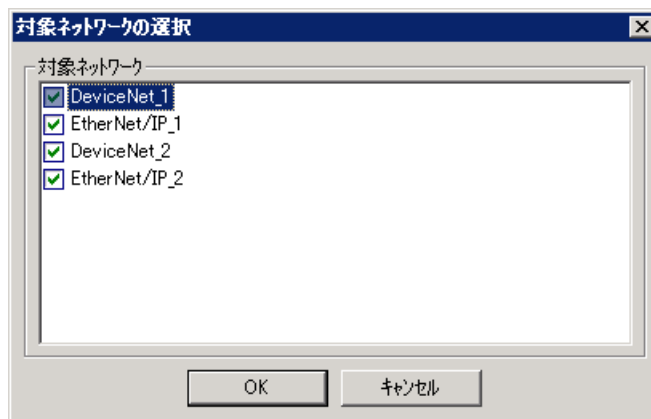
これで、仮想ネットワーク上の任意のネットワークに存在しているデバイス群の構成情報が保存されている状態になります。

次に、保存したファイルを再利用する手順を説明します。

- (1) メニューバーから[ファイル] | [開く]を選択します。  
以下の[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。



- (2) オプションとして、「対象ネットワークを選択する」チェックボックスと、「現在のドキュメントに追加する」チェックボックスが表示されます。  
この二つのチェックボックスをチェックしない場合は、Ver.2.0 と同じ方法でファイルが開かれます。
- (3) ここで「対象ネットワークを選択する」チェックボックスにチェックをし、ファイルを開いた場合、以下のダイアログボックスが表示されます。  
(以前のバージョンで作成した、既存のプロジェクトファイルも指定できます)



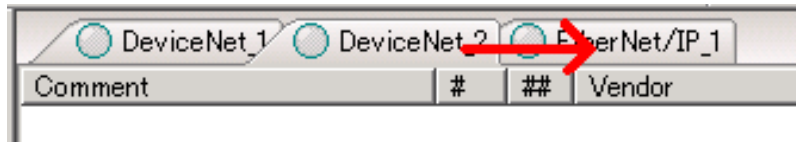
- (4) この画面にファイルに含まれるネットワークが表示されます。  
使用するネットワーク名にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックすると、選択したネットワークのみが読み出されます。
- (5) [開く]ダイアログボックスで、「現在のドキュメントに追加する」を選択した状態でファイルを開くと、現在使用中のネットワークに、ファイルから読み出されたファイルが追加されます。

## 2.2. ページ名の印刷

Ver.2.01 では、プログラム印刷時に、ページ名も印刷が可能です。

## 2.3. ネットワークタブの移動

Ver.2.01 では、表示されているネットワークタブの入れ替えが可能です。  
ネットワークタブ上でドラッグ&ドロップすることにより、入れ替えることができます。



### 3. Ver.2.01 からVer.2.10 へのアップデート内容

Network Configurator Ver. 2.01 から Ver. 2.10 のアップデート内容は以下のとおりです。

#### 3.1. Ver.2.10 の新規機能

Ver.2.10 で新規に追加された機能を紹介します。

(NE0A の使用方法詳細については、NE0A ユーザーズマニュアル(SJLB-303□)をご参照ください)

##### 3.1.1. NE0A-SCPU01 のサポート

セーフティネットワークコントローラ 形 NE0A-SCPU01 をサポートしました。

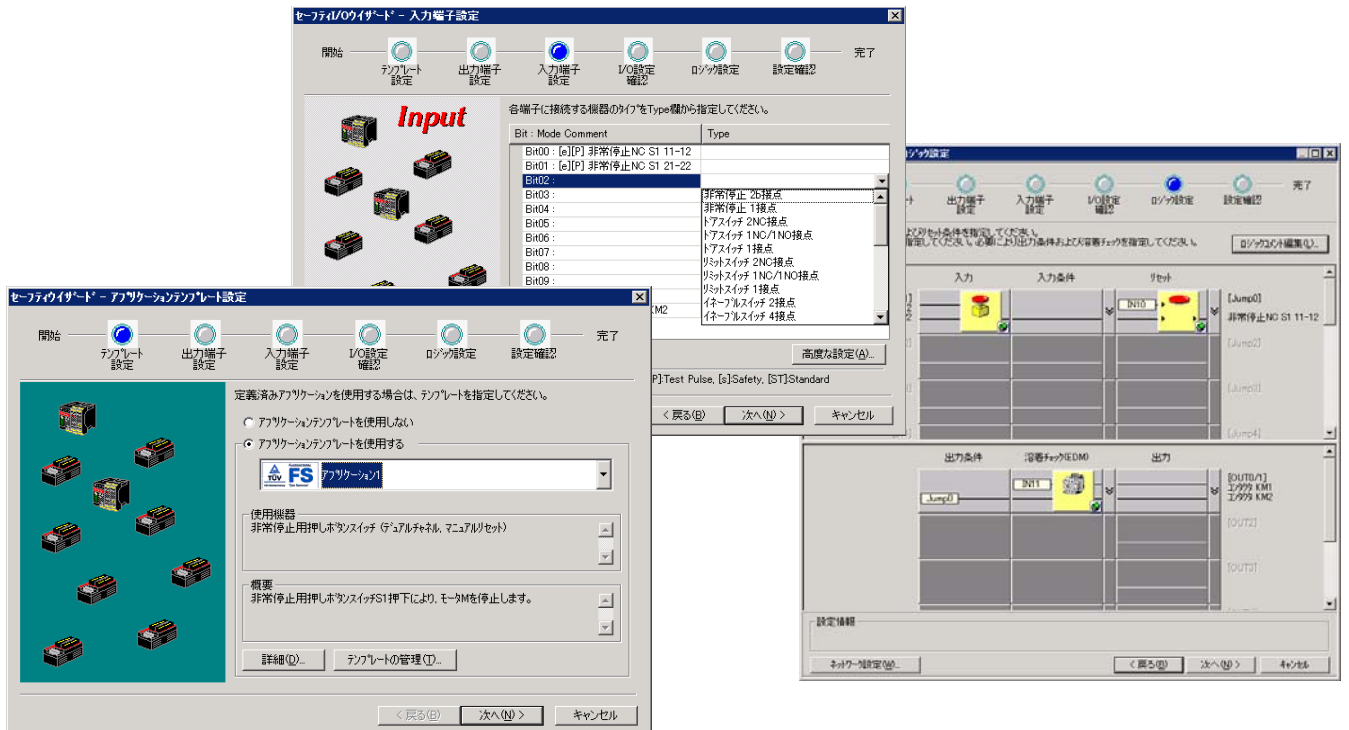
形 NE0A-SCPU01 に対して以下の機能を実行できます。

##### 3.1.1.1. NE0A設定ウィザード

NE0A に関する設定を、プログラムの編集も含めてウィザード形式で行えます。

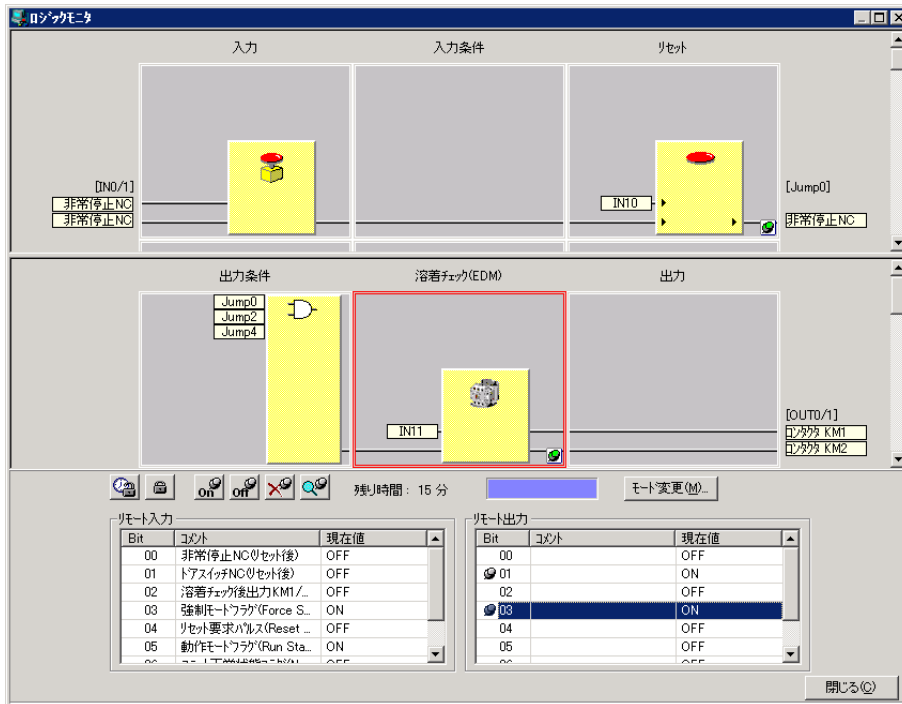
また、アプリケーションテンプレートもインストールされており、

それを選択するだけで簡単に NE0A のセットアップを行えます。



### 3.1.1.2. プログラムモニタ

Network Configurator から、NE0A-SCPU01 のプログラムをモニタすることができます。  
これにより、NE0A の実機デバッグが可能です。



### 3.1.2. 強制セット／リセット機能を用いたデバッグ

Network Configurator を用いて、NE0A に対してセーフティマスタ(NE1A シリーズなど)から入力される  
信号の強制セット／リセットを行えます。

これにより、NE0A のみで分散システムのデバッグを行うことができ、安全制御システムの分散立ち上げ  
が行えます。



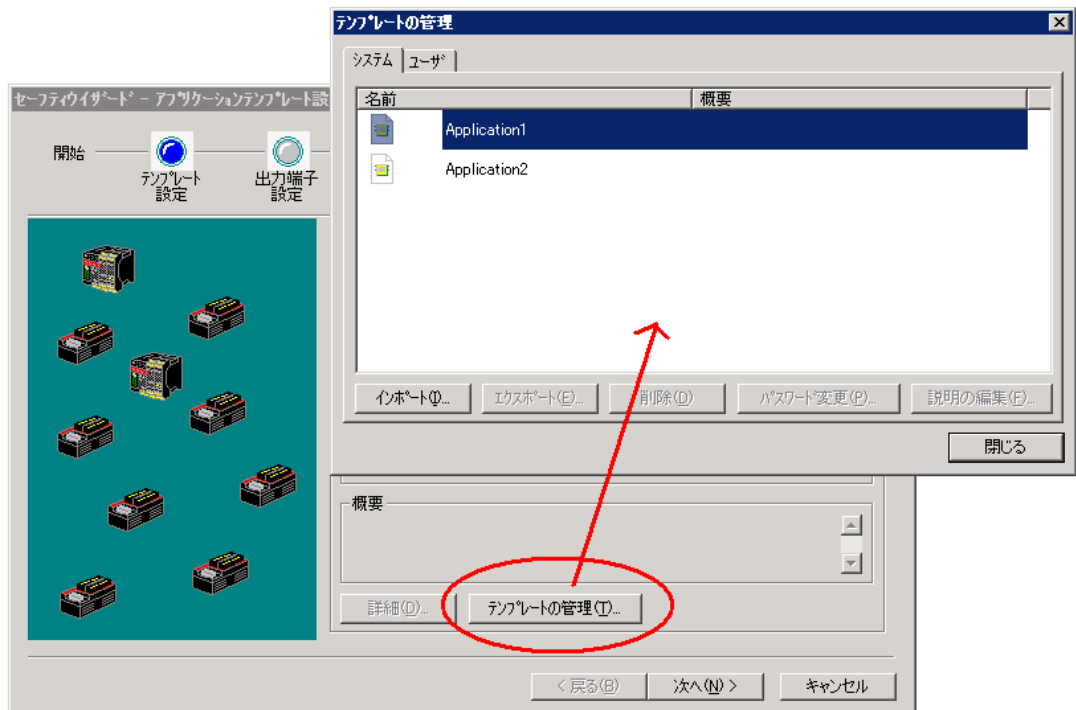
### 3.2. Ver.2.10 の変更機能

Ver.2.10 では、以下の機能に対して変更を行っています。

#### 3.2.1. 形DST1-XD0808SL01 の設定ウィザード

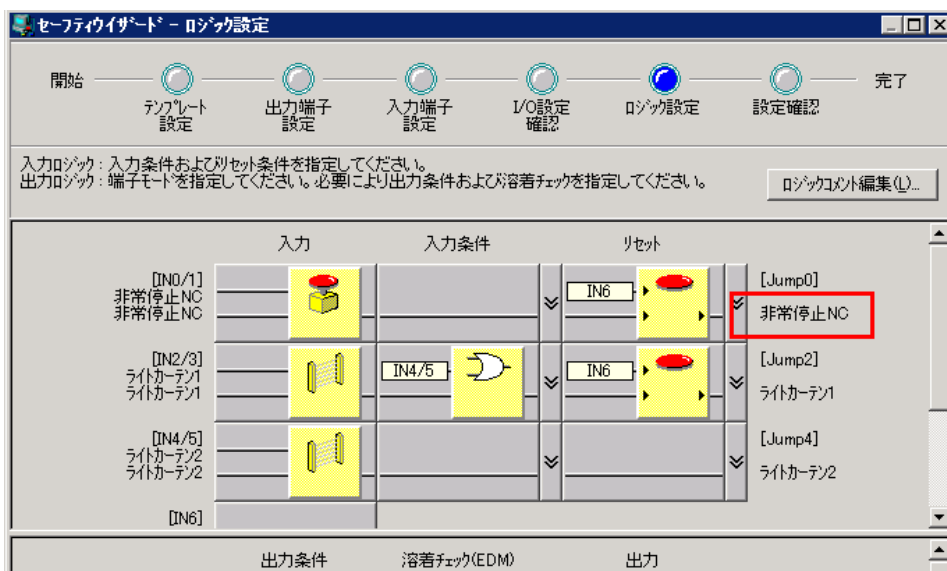
##### 3.2.1.1. テンプレート管理機能

DST1-XD0808SL01 に対する設定をテンプレートとして、再利用することができます。



##### 3.2.1.2. ロジックコメント編集画面

DST1-XD0808 のロジック編集画面で、入力側と出力側をつなぐロジックコメントを編集できます。



### 3.2.1.3. 画面表示内容変更

その他、以下のように画面を変更しています。

- ・ テンプレート選択画面

テンプレートを選択するリストにアイコンを表示し、より見やすくなりました。



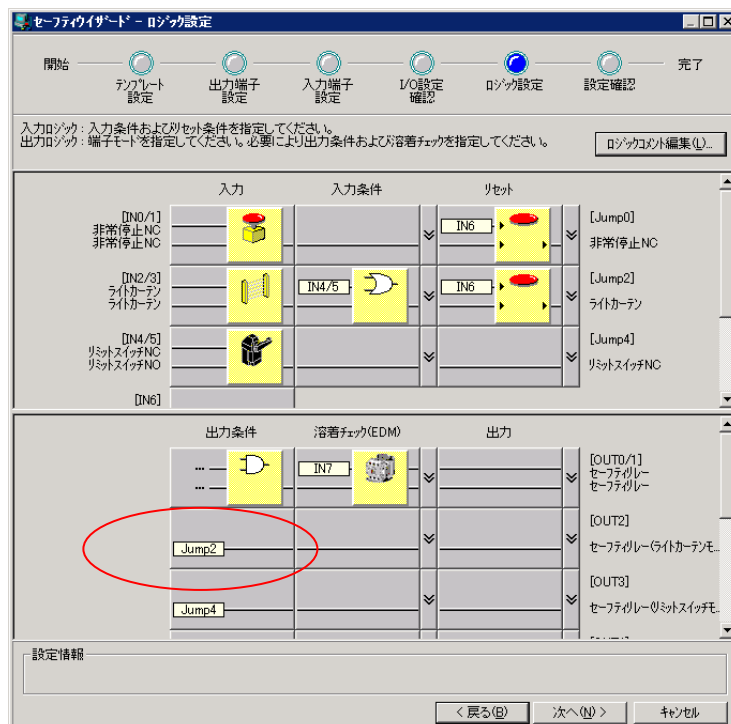
- ・ ロジック設定画面を同時に表示

入力側のロジック編集画面と、出力側のロジック出力画面を一画面に表示できるように変更しました。これにより、全体像が把握しやすくなります。

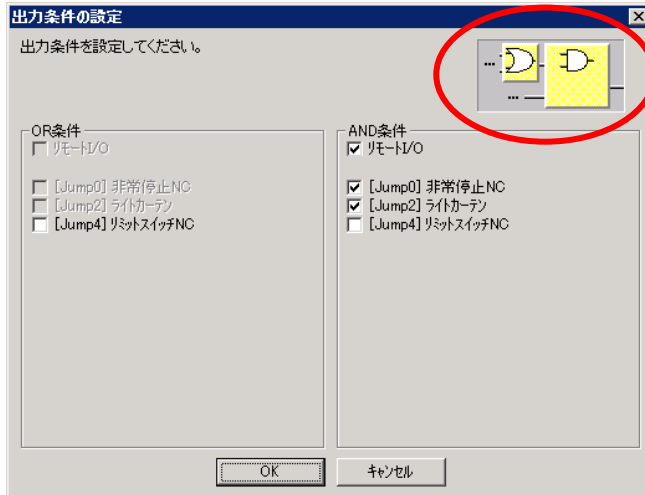
- ・ 入力条件／出力条件／リセット信号に入力される端子名の表示

各条件にどの信号が設定されているかを画面に表示するように変更しました。

これにより、よりプログラムの内容が把握しやすくなります。



- ・ 入力条件／出力条件画面に概要を表示  
以下のようにFB 画像を表示し、どのような条件が設定されているかを把握しやすく変更しました。



### 3.2.2. 形DST1 シリーズ/ 形NE1Aシリーズ/ 形NE0AのIOウィザード

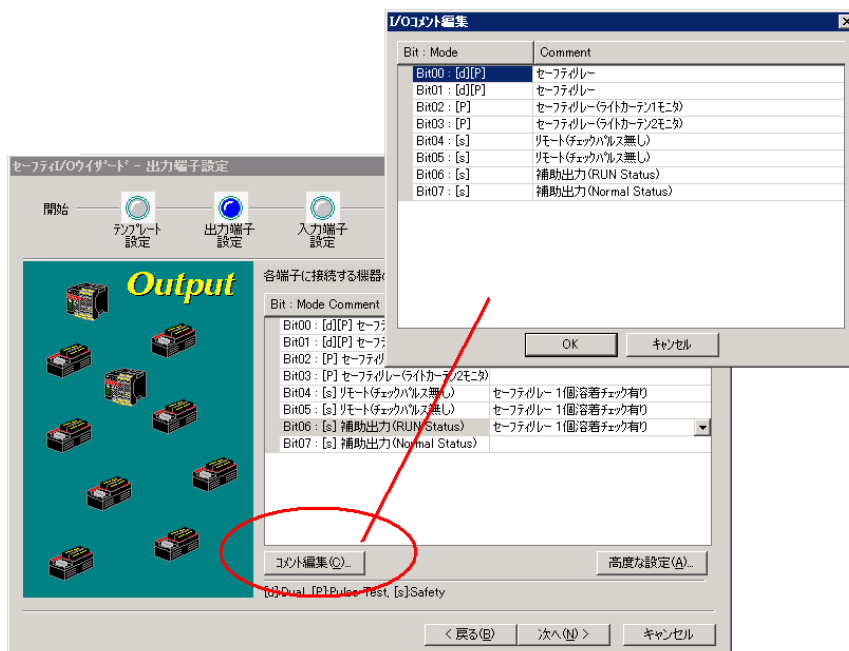
Ver.2.10 では、以下の機能に対して変更を行っています。

#### 3.2.2.1. ウィザード画面のジャンプ機能

ウィザード画面上部にボタンを表示し、その工程を直接表示できるようにしました。

#### 3.2.2.2. コメント編集画面追加

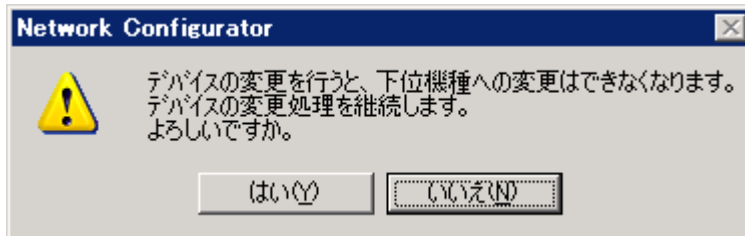
I/O コメントを以下の画面から一括で行えるようにしました。



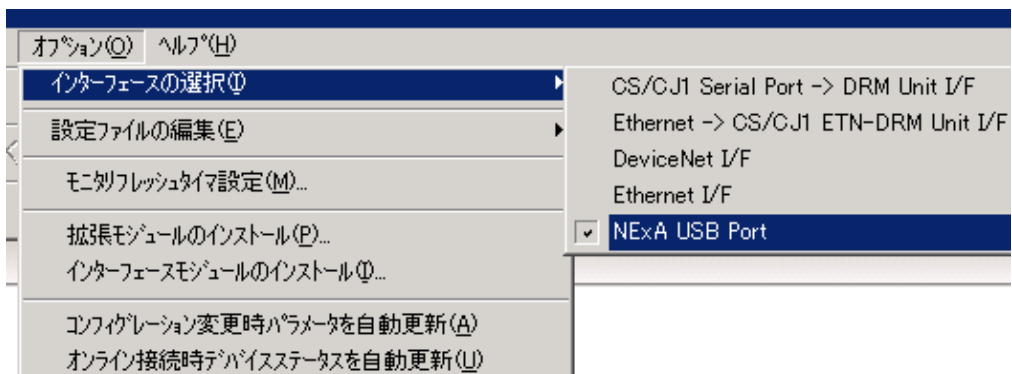
### 3.2.3. その他の変更

その他、以下の変更を行っています。

- 「デバイスの変更」時に警告メッセージを表示  
「デバイスの変更」機能を実行した際に、以下の警告メッセージを表示しています。



- インタフェース名の変更  
NE1A/NE0A に USB 接続するためのインタフェース名を  
「NE1A USB Port」から「NExA USB Port」に変更しました。  
このインタフェースは、NE1A/NE0A に対して有効です。



## 4. Ver.2.10 からVer.2.20 へのアップデート内容

Network Configurator Ver. 2.10 から Ver. 2.20 のアップデート内容は以下のとおりです。

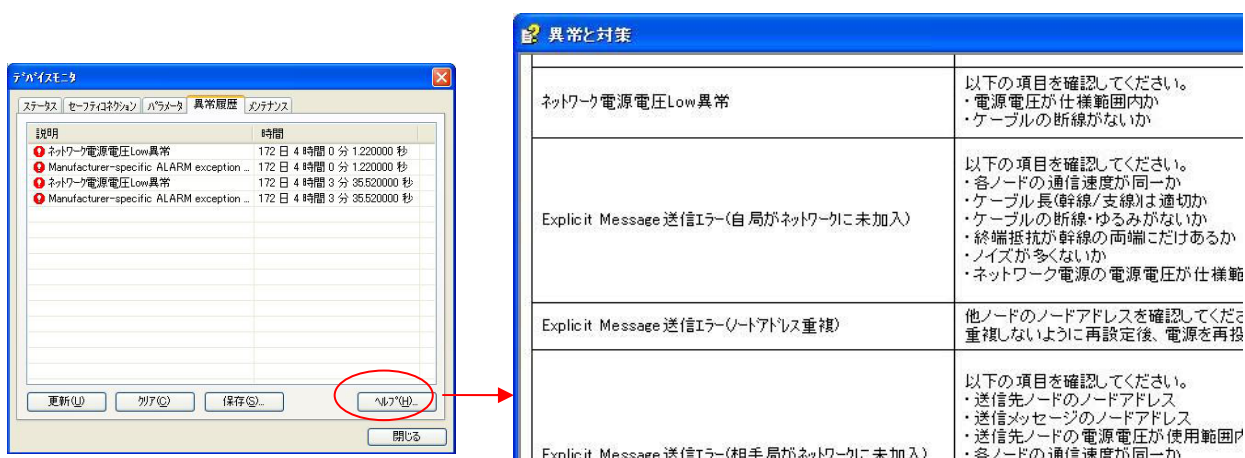
### 4.1. 新規デバイスのサポート

セーフティネットワークコントローラ NE1A EtherNet/IP 対応ユニット (形 NE1A-SCPU01-EIP / NE1A-SCPU02-EIP) をサポートしました。NE1A EtherNet/IP 対応ユニットの使用法詳細については、NE1A ユーザーズマニュアル (SJLB-302G) を参照ください。

NE1A EtherNet/IP 対応ユニットと、CS/CJ シリーズの EtherNet/IP ユニット (形 CS1W-EIP21, 形 CJ1W-EIP21, 形 CJ2B-EIP21) とのタグデータリンク設定も可能です。

### 4.2. 異常履歴画面でのヘルプ

DeviceNet Safety デバイスのモニタ機能で表示される異常履歴画面 / EtherNet/IP 異常履歴画面において、選択した異常の対処方法を表示する機能を追加しました。



対処方法表示例

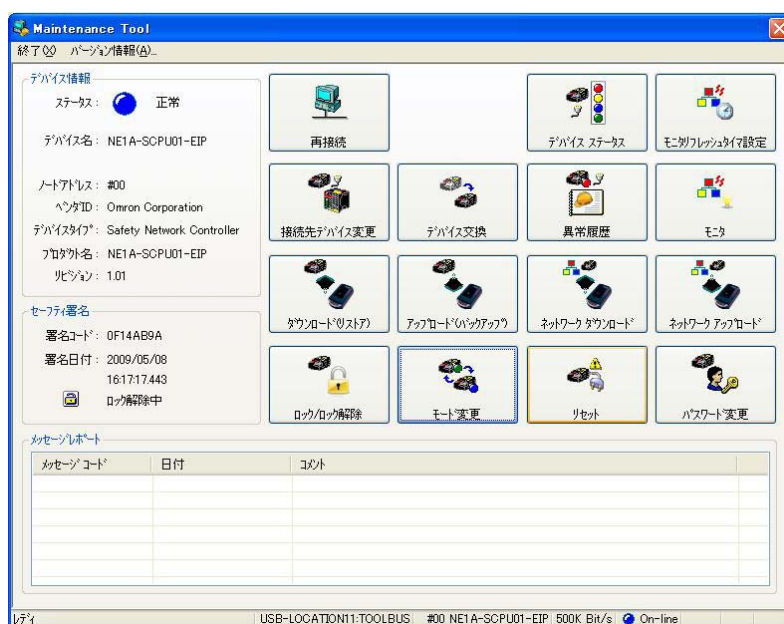
### 4.3. メンテナンスツール

メンテナンスに特化したメンテナンスツールを追加しました。

メンテナンスツールには、次の機能があります。

- ・デバイス交換 (アップロードしたデバイスパラメータを交換後のデバイスにダウンロード)
- ・ダウンロード (リストア)
- ・アップロード (バックアップ)
- ・ロック・ロック解除
- ・モード変更
- ・リセット

- ・パスワード変更
- ・異常履歴の表示
- ・I/O 端子の状態、デバイスステータス、メンテナンス情報の表示



メンテナンスツールの機能や使用方法は、DeviceNet Safety システムコンフィグレーションマニュアル(SJLB-301G)の「第9章 メンテナンスツール」を参照ください。

#### 4.4. プロテクトモードでのダウンロード

ネットワーク構成ファイルのパスワードによる保護の対象を見直し、プロテクトモードで起動した場合にもデバイスの状態変更やダウンロードができるようになりました。

これにより、保守時にマスタファイルを保護しながら、現場でデバイス交換などの保守作業を行うことが可能となります。

詳細は、DeviceNet Safety システムコンフィグレーションマニュアル(SJLB-301G)の「3-5-4 プロテクトモード」の項を参照ください。

#### 4.5. 対応OSにWindows Vista®を追加

Windows Vista® での動作を可能にしました。

## 5. Ver.2.20 から Ver.2.21 へのアップデート内容

Network Configurator Ver. 2.20 から Ver. 2.21 のアップデート内容は以下のとおりです。

### 5.1. Ver.2.□間でのネットワーク構成情報の共通化

Ver.2.21 では、Ver.2.0/ Ver.2.1 との Ethernet/IP ネットワーク構成の互換性を保つため、ネットワークプロパティ画面を共通にしました。